

VAサーチシリーズ（統合版）
操作マニュアル

発行日：2026年6月23日

発行：VBAアセット

目次

| | |
|----------------------|----|
| 1. はじめに..... | 2 |
| 2. インストールの確認..... | 2 |
| 3. VAサーチ..... | 3 |
| 4. VA配当率..... | 5 |
| 5. VAコネクト..... | 6 |
| 6. VAセキュリティ..... | 7 |
| 7. VAブリッジ..... | 8 |
| 8. VAクリップ..... | 11 |
| 9. VAコード..... | 15 |
| 10. アンインストール..... | 17 |
| 11. 制限事項..... | 17 |
| 12. トラブルシューティング..... | 17 |
| 13. 開発者からのお願い..... | 17 |
| 14. 使用許諾・免責事項..... | 18 |

1. はじめに

「VAサーチシリーズ（統合版）」は、法律事務所における事務作業を支援するMicrosoft Excel用アドインの統合パッケージです。

利益相反確認のための高度な検索、破産事件における配当率の計算、家系図作成時のコネクタ描画など、エクセルで行う専門的な業務を効率化します。

2. インストールの確認

【重要】初回のインストール完了後は、Excel上で本アドインを使用可能にするための設定が必要です。以下の手順に従って設定を行ってください。

-Excelのオプションを開く Excelを起動し、画面左上の「ファイル」タブをクリックします。左側のメニュー最下部にある「オプション」をクリックします。

-アドイン設定画面へ移動する 「Excelのオプション」画面が開きます。左側のメニューから「アドイン」を選択します。

-設定ボタンを押す 画面下部にある「管理(A):」のリストが「Excel アドイン」になっていることを確認し、その右隣にある「設定(G)...」ボタンをクリックします。

-アドインを有効にする 「アドイン」という小さな画面が表示されます。「有効なアドイン(A)」の一覧の中に「アドイン名」が表示されていますので、その左側のチェックボックスにチェックを入れます。

-設定を完了する 「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

-Excelのリボンに「VA」という名前のタブが追加され、各機能呼び出すためのボタンが配置されます。

-一部の機能は、クイックアクセスツールバー（画面左上のアイコン群）のアイコンからも実行できます（Windowsのみ）。



リボンに配置されるボタン



クイックアクセスツールバーに追加されるアイコン

※Excel起動時にセキュリティの警告が表示された場合は、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。

3. VAサーチ

～法律事務所での利益相反確認に適した検索～

3.1. 機能

膨大な顧客リストや関係者リストから、特定のキーワードを含む行のみを抽出・表示します。

通常のExcelの検索機能（Ctrl+F）とは異なり、検索結果だけをリストとして残せるため、利益相反チェック（コンフリクトチェック）に最適です。

3.2. 使い方

-検索を行いたいテーブルやデータリスト内のセルを選択した状態にします。

-リボンの「レコード検索」ボタンをクリックします。（「VAサーチ」の検索フォームが表示されます。）



レコード検索

VAサーチ

-スペース区切りで複数のキーワードを指定できます。検索方法は、「OR（または）」と「AND（かつ）」から選択できます。

-検索は、全角/半角・大文字/小文字を区別しません（例：abc で ABC もヒットします）。また、異字体（高⇔高など）、濁点・半濁点の有無（が⇔か、ぱ⇔は）、小書き文字の有無（っ⇔つ、ゃ⇔や）、長音の有無（ー）、ひらがな/カタカナも同一視してヒットします。

-日付検索（例：2023/1/1 や H11/12/31）にも対応しています。Excelが日付として認識できる形式であれば、データ側の書式に関わらずヒットします。

-「結果を表示」ボタンをクリックすると、検索にヒットした行だけが表示されます。

-「元に戻す」をクリックすると、検索結果の表示が解除されます。

3.3. 異字体の同一視

-検索時に自動的に同一視される異字体は、次のものだけです。（文字コード上の「異体字セレクタ」を含む文字は、すべて自動的に通常の文字として扱われます。）

| 行 | 異字体（旧字体など） | ⇔ | 標準字体（統一先） |
|-----|-------------------------------------|---|-------------------------------|
| ア行 | 亞, 醫, 榮, 惠 | → | 亜, 医, 栄, 恵 |
| カ行 | 會, 學, 國, 劍, 廣, 舊, 區 吉 (土吉) | → | 会, 学, 国, 剣, 広, 旧, 区 吉 |
| サ行 | 齋, 齊, 齋 櫻, 澤, 嶋, 崑 壽, 眞, 穰, 崎 | → | 齊 桜, 沢, 島, 島 寿, 真, 穰, 崎 |
| タ行 | 高 (はしごだか) 瀧, 塚, 鐵, 徳, 富, 豊 | → | 高 滝, 塚, 鉄, 徳, 富, 豊 |
| ハ行 | 濱, 濱, 邊, 邊 檜, 澁 | → | 浜, 浜, 辺, 辺 桧, 澁 |
| その他 | 萬, 峯, 榎 藪, 龍, 隆, 禮 | → | 万, 峰, 梅 藪, 竜, 隆, 礼 |

3. 4. 細部仕様

<https://vba-assets.net/keep-only-the-search-results/>

4. VA配当率

～配当表の配当率を自動計算～

4.1. 機能

破産事件や個人再生事件などで作成する「配当表」において、債権額と配当原資を元に、按分弁済の配当率を自動計算します。

端数処理や計算間違いが発生しやすい複雑な計算を自動化し、正確な配当表作成をサポートします。

4.2. 使い方

-配当表のデータが入力されたシートを開きます。

-リボン-VA-VA配当率の「配当率計算」ボタンをクリックします。



配当
率計算

VA配当率

-「合計金額のセル」と「配当率のセル」には、選択ボタンをクリックして、それぞれのセルの行列番号を入力します。

-「合計金額の目標値」を入力し、「OK」ボタンをクリックすると「配当率のセル」に自動計算した配当率が入力されます。

-配当率の解答が得られなかった場合は、「配当率の最大桁数」を増加させるか、「配当することができる金額」の数値の丸め方を変更して再度試してください。

VA配当率

合計金額のセル: 選択

配当率のセル: 選択

合計金額の目標値:

配当率の最大桁数:

OK キャンセル

4.3. 細部仕様

<https://vba-assets.net/automatically-calculate-the-dividend-rate/>

5. VAコネク

～家系図の作成に適したコネクタを自動描画～

5.1. 機能

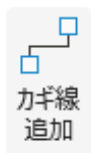
エクセルのセルとセルの間を「カギ線」で結びます。

相続関係説明図（家系図）を作成する際、セルに入力した氏名同士を線で結ぶ作業が、マウス操作だけで直感的に行えます。

5.2. 使い方

-家系図の配置に合わせて、セルに氏名などを入力します。

-リボン-VA-VAコネクの「カギ線追加」ボタンをクリックします。（VAコネクのフォームが起動します。）



VAコネク

-線で結びたい始点のセルと終点のセルを、Ctrlキーを押しながらクリックして選択します。

-線の始点、方向、線種などを選んで「コネクタ追加」を押すと、きれいに接続された線が描画されます。



5.3. 細部仕様

<https://vba-assets.net/family-tree/>

6. VAセキュリティ

～文書保護設定と個人情報の削除～

6.1. 機能

外部へExcelファイルを提出する前に、ファイルのプロパティに含まれる個人情報（作成者名など）や、非表示になっているコメント、変更履歴などを一括で削除します。

意図しない情報の流出を防ぎ、安全なファイル共有を実現します。

6.2. 使い方

-提出前の最終版ブックを開きます。

-リボン-VA-VAセキュリティの「情報削除」ボタンをクリックします。



VAセキュリティ

-確認メッセージに従って実行すると、メタデータや個人情報が削除されます。

-実行後は「元に戻す」ことができないため、必ずファイルを保存してから実行してください。

6.3. 削除される情報

-Excel標準の「ドキュメント検査」機能をベースに、以下の項目をすべて削除します。

-コメントとメモ：ブック内のすべてのセルに含まれる内容。

-ドキュメントのプロパティ：タイトル、作成者、会社名、タグなどの付加情報。

-個人情報：ファイルの保存時や編集時に自動的に記録されるユーザー情報。

-非表示データ：非表示の行・列、非表示のワークシート、カスタムXMLデータなど。

Mac版Excelの場合は、以下の主要な項目を削除します。

-全シートのコメント：すべてのワークシートからコメントを一括削除。

-主要なドキュメントのプロパティ：

-作成者 (Author)

-最終保存者 (Last Author)

-会社名 (Company)

6.4. 細部仕様

<https://vba-assets.net/sanitize-document-completely/>

7. VAブリッジ

～エクセルファイルを利用した簡易的な共同編集～

7.1. 機能

少人数の事務所において、サーバーに保存したExcelブックを利用した簡易的な共同編集を可能にします。OneDriveの共同編集機能が使えない環境下でも、エクセルファイルを共有した状態で編集ができます。

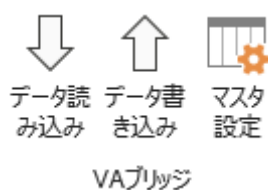
1つのシートに1つのテーブルが配置されている場合のみに対応しています。

7.2. 使い方

7.2.1. 設定（マスタとの紐付け）

まず、手元の作業用ファイル（ユーザーファイル）と、サーバー上のマスタファイルを紐付けます。

-リボン-VA-VAブリッジの「マスタ設定」ボタンをクリックします。



-「マスタファイルパス」の参照ボタンをクリックして、サーバー上のマスタファイルを選択します。

-「シート選択」で同期するユーザーファイルのシートを選択します。

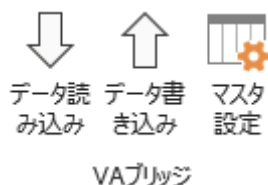
-「マスタシート選択」で同期するマスタファイルのどのシートを選択します。

-「保存」をクリックすると設定がユーザーファイルに保存されます。

-「削除」をクリックすると設定が削除されます。

7.2.2. データの読み込み

リボン-VA-VAブリッジの「データ読み込み」ボタンをクリックし、モードを選択すると、マスタファイルから最新のデータを取得し、手元のシートが更新されます。（ファイルを開いたときにも、自動的に最新データが読み込まれます。）

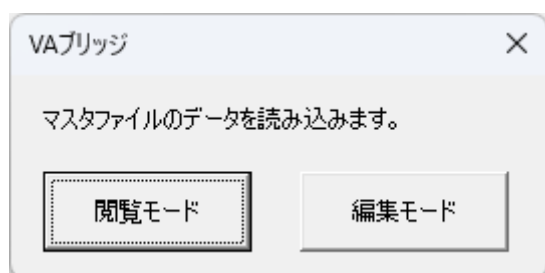


「閲覧モード」は、データを閲覧するためのモードです。

- 編集はできません（シート保護がかかります）。
- 並べ替えやオートフィルターの操作は可能です。
- 他のユーザーが編集中であっても、閲覧モードであれば待たされることなくデータを開けます。

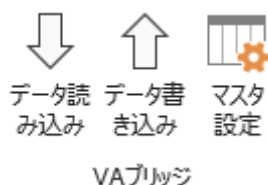
「編集モード」は、データを変更・追加するためのモードです。

- 選択すると、マスタファイルの「ロック（編集権）」を取得します。
- シートのスタイルが変わり（初期設定ではオレンジ色）、編集可能になります。
- 他のユーザーが既に編集中（ロック中）の場合は、編集モードを選択できません。



7.2.3. データの書き込み

リボン-VA-VAブリッジの「データ書き込み」ボタンをクリックすると、手元のシートの内容でマスタファイルが更新されます。



- ファイルを閉じる際には、変更を反映するかを確認するメッセージが表示されます。
- 書き込みが完了すると、自動的に「閲覧モード」に戻ります。

7.2.4. 排他制御

複数人で同時に編集しようとした場合、データが壊れないように「排他制御（ロッ

ク) 」機能が働きます。

-読み込み時のチェック 誰かが書き込み処理中の場合でも、データの読み込み自体は可能です（待たされることはありません）。ただし、「現在、ユーザー [名前] が編集集中です。書き込みはできません（閲覧モード）。」というメッセージが表示され、強制的に閲覧モードとなります。

-編集開始時（モード選択時）のチェック 「編集モード」ボタンを押した際、誰か他の人が既に編集モードに入っている場合は、「既に他のユーザー（[名前]）が編集を開始しています。」という警告メッセージが表示され、編集モードには移行できません。

-書き込み時（保存時）のチェック 自分がデータを読み込んだ後に、誰か別の人がデータを更新している（マスタファイルが新しくなっている）場合、書き込みを行おうとすると「他者によりデータが更新されています」と警告を表示して書き込みを中断します。

警告が表示された場合は、以下の手順でリカバリしてください：

- 自分が編集した行をコピーし、別のエクセルブック等に退避させる。
- 再度「データ読み込み」を実行して最新データを取得する。
- 「編集モード」にする。
- 退避させておいたデータを貼り付け、「データ書き込み」を実行する。

7.3. データ構造と更新方式

7.3.1. データ構造

- シート上の「テーブル (ListObject) 」機能を使用している必要があります。
- 1つのシートに2つ以上のテーブルがある場合には対応していません。マスタファイルとユーザーファイルで、列の並び順や項目名が一致している必要があります。

7.3.2. 更新方式

- データの書き込みは「全洗い替え」方式です。マスタ側のデータを一度削除し、手元のデータですべて置き換えます。
- 書式の初期化
- データの読み込みを行うと、セルの書式（色やフォントなど）は初期化（クリア）されます。これは、マスタファイルのデータと整合性を保ち、古い書式が残ることによる誤解を防ぐための仕様です。

7.4. 細部仕様

<https://vba-assets.net/simple-collaborative-editing/>

8. VAクリップ

～VBA開発者向けツール～

8.1. 機能

Excelブックに含まれるすべてのVBAモジュール（標準モジュール、クラス、フォーム）のコードを一括でJSON形式でクリップボードに書き出します（エクスポート）。逆に、クリップボードのコードを一括で取り込む（インポート）ことも可能です。GeminiなどのAIを使ってVBAプロジェクトを開発・改良する際に最適です。

8.2. 使い方

8.2.1. セキュリティ設定の変更

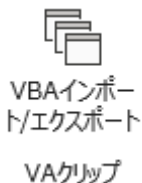
このマクロは、VBAプロジェクトの構造自体にアクセスしてコードを読み取るため、実行前にExcel/Word側でセキュリティ設定を許可する必要があります。

- 「ファイル」 > 「オプション」 > [トラスト センター] を開きます。
- 「トラスト センターの設定」 ボタンを押します。
- 「マクロの設定」 を選択します。
- 「VBAプロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する」 にチェックを入れます。

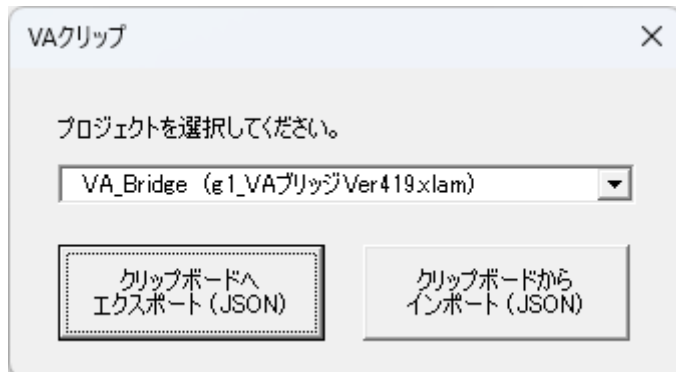
この設定がOFFになっていると、マクロはエラーで停止します。

8.2.2. 起動

- VBAコードをエクスポートしたいWordまたはExcelファイル開きます。
- リボン-VA-VBAクリップの「VBAエクスポート／インポート」 ボタンをクリックします。



-メニューが表示されますので、対象となるプロジェクトを選択してから、「クリップボードへエクスポート」または「クリップボードからインポート」をクリックしてください。



-VBEからbasMainモジュールのMainプロシージャを直接実行することもできます。

8.2.3. モジュールのエクスポート

-プロジェクトの各モジュールのコードがJSON形式でクリップボードに保存されます。

8.2.4. モジュールのインポート

-クリップボードのコードがプロジェクトにインポート（上書き）されます。

-【注意】 ファイルの保存操作を行わないとファイルには書き込まれません。

8.3. 生成AIのプロンプト

インポートするJSONを生成するためのプロンプトの一例は、次のとおりです。

「VAクリップ」は、運営者が開発・運用しているVBAモジュール一括入出力ツールである。JSON形式のテキストからVBAモジュールをホストアプリケーションに一括インポートする機能を持つ。

主な作業は、ExcelまたはWordの既存VBAプロジェクトの保守・拡張である。既存プロジェクトのコードをVAクリップでJSON形式にエクスポートし、そのJSONが会話に貼り付けられて提示される。新規開発が依頼される場合もある。

要求に基づきVBAコードを作成・修正し、VAクリップで取り込み可能なJSON形式で出力せよ。これは、出力されたJSONをVAクリップに貼り付けることで、手作業なしにモジュールをインポートできるようにするためである。

本指示の目的は、アドインやサンプルコードの開発・保守を効率化することである。主要な課題は、提示される既存コード（JSON）または新規の要求に対して、VAクリップのJSON仕様に完全に準拠したコードを生成することである。成功した状態とは、出力されたJSONをVAクリップに貼り付けた際にエラーなくモジュールがインポートされ、VBAが正常に動作し、かつコードが第三者にとって読みやすく公開可能な品質であることをいう。

以下は遵守すべき制約と仕様である。

【出力対象の限定—最重要事項】

新規作成または内容を修正したモジュールのみをJSON配列に含めよ。変更のないモジュールは絶対に出力するな。変更の指示を受けていないモジュールに手を加えることは、別の不具合を発生させるリスクがあり、厳禁である。修正対象の判定に迷った場合は、出力せず確認せよ。

【コードの完全出力ー最重要事項】

モジュールのコードは、先頭行から最終行まで省略・中断なく完全に出力せよ。「(以下省略)」「(同様に続く)」のような省略は一切行わない。コードが長い場合であっても、必ず全行を出力せよ。途中で切れた出力は使用できない。

【行コメントの完全付与ー最重要事項】

すべてのコード行に、その行が何を行っているかを説明するコメントを前の行に付与せよ。コメントのない行があってはならない。コードはVBAアセットで公開され、VBA学習者を含む第三者が読むことを前提とする。

【JSON仕様】

VBAクリップが受け付けるJSON形式は以下のとおりである。

```
[
{
"name": "モジュール名",
"type": "モジュール種別",
"code": "VBAコード全体"
}
]
```

typeフィールドには以下のいずれかを正確に指定せよ。

Standard: 標準モジュール

Class: クラスモジュール

Form: ユーザーフォーム (コード部分のみ)

Document: ドキュメントモジュール (ThisWorkbook, ThisDocument, Sheet1, Slide1等)

codeフィールドのエスケープ処理 (JSON構文エラーを防ぐための必須事項) :

VBAコードをJSONのcodeフィールドに格納する際、必ず以下の置換を行え。

a) バックslash (¥) はすべて ¥¥ に置換せよ。

a) ダブルクォーテーション (") はすべて ¥" に置換せよ。

a) 改行 (CRLFまたはLF) はすべて ¥n に置換せよ。

a) 日本語はUnicodeエスケープせず、UTF-8文字のまま含めよ。

【既存モジュールの扱い】

ホストアプリケーション固有のオブジェクト (ThisWorkbook, ThisDocument, Sheet1等) を修正する場合、typeは必ずDocumentとし、nameは既存のオブジェクト名と完全に一致させよ。既存のロジックを破壊しないよう注意せよ。

【文字列リテラルの保護】

明示的な変更指示がない限り、コード内の文字列リテラル (シート名、セル番地、ブックマーク

名、テーブルのフィールド名、ファイルパス、SQL文など)を一切変更してはならない。各アプリケーションのオブジェクト構造や外部データ連携の整合性を保つために不可欠である。

【命名規則】

変数の命名にはハンガリアン記法を用いよ。データ型の略称を接頭文字として付ける(例: lngCount, strName, dtmDate, blnFlag)。主な接頭文字は以下のとおり。

Integer: int / Long: lng / Single: sng / Double: dbl

String: str / Date: dtm / Boolean: bln / Variant: var

カウンタ変数には以下の規則を適用せよ。

シートの行番号: i / シートの列番号: j

テーブルの行番号: r / テーブルの列番号: s

2つ目のテーブルの行番号: t / 列番号: u

オプションシートのテーブルの行番号: v / 列番号: w

プロシージャ名にはキャメルケース(先頭の動詞は小文字、以降の単語は大文字)を用いよ(例: getDate, setValue, deleteRow)。

Boolean変数にはis, can, hasなどの接頭語を用いよ(例: isOk, canEdit, hasData)。

Option Explicitは必須とせよ。

【コメント規則】

モジュールヘッダー: 各モジュールの先頭に概要と更新日時(YYYY/MM/DD HH:MM形式)をコメントとして記述せよ。

プロジェクト変更履歴: ThisWorkbookやThisDocumentに変更履歴を記載する場合は以下の形式に統一せよ。

```
' 2026/02/08 Ver123 プロシージャを高速化
```

```
'           メッセージを表示しないバグを修正
```

(日付+スペース+バージョン+スペース+内容。2行目以降はインデントして内容の頭を揃える。)

プロシージャ概要: 各Sub/Functionの直前に処理の目的・引数・戻り値の説明コメントを記述せよ。

【出力形式】

出力がVBAコードを含む場合は、VAクリップのJSON形式で出力せよ。JSON配列のみを出力し、前後に説明文を付けないこと。ただし、コード以外の回答を求められた場合はこの限りでない。

コードの作成・修正以外の質問(設計相談、仕様確認、エラー原因の調査など)に対しては、JSON形式にする必要はなく、適宜の形式で回答せよ。

8.4. 細部仕様

<https://vba-assets.net/export-vba-code-to-a-single-file/>

9. VAコード

～ファイルベースのVBAコード管理ツール～

9.1. 機能

ExcelまたはWordのVBAプロジェクトに含まれるモジュールのコードを、テキストファイルとして書き出します（エクスポート）。また、保存したファイルからモジュールを取り込む（インポート）ことができます。

VAクリップがクリップボードを介してコードを入出力するのに対し、VAコードはファイルシステムを介して管理します。Claude Codeなど、ファイルを直接読み書きするAIツールとの連携に特に適しています。

9.2. セキュリティ設定の変更

このマクロは、VBAプロジェクトの構造自体にアクセスしてコードを読み取るため、実行前にExcel/Word側でセキュリティ設定を許可する必要があります。

- 「ファイル」 > 「オプション」 > [トラスト センター] を開きます。
- 「トラスト センターの設定」 ボタンを押します。
- 「マクロの設定」 を選択します。
- 「VBAプロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する」 にチェックを入れます。

この設定がOFFになっていると、マクロはエラーで停止します。

9.3. 使い方

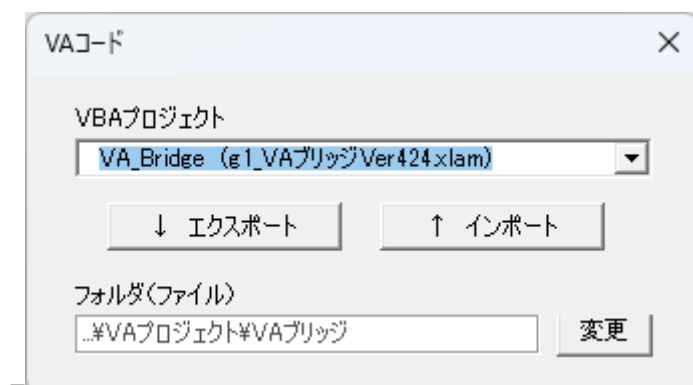
9.3.1. 起動

-VBAコードを操作したいExcelまたはWordファイルを開きます。

-リボン-VA-VAコードの「VBAエクスポート／インポート」 ボタンをクリックします。

（VAコードのフォームが起動します。）

-対象のプロジェクトをコンボボックスから選択してください。選択したプロジェクトに対応するフォルダパスが表示されます。フォルダを変更したい場合は「変更」 ボタンをクリックします。



9.3.2. モジュールのエクスポート

- 「エクスポート →」 ボタンをクリックします。
- フォルダパスが未設定の場合は、保存先フォルダの選択ダイアログが表示されます。
- 確認ダイアログで「OK」をクリックすると、各モジュールがテキストファイルに書き出され、モジュール構成を記録したmanifest.jsonが生成されます。
出力されるファイルの形式は以下のとおりです。
- 標準モジュール (Standard) : モジュール名.bas
- クラスモジュール (Class) : クラス名.cls
- ユーザーフォーム (Form、コード部分のみ) : フォーム名.frm
- ドキュメントモジュール (Document) : モジュール名.bas
- manifest.json: モジュール名・種別・ファイル名の対応表

9.3.3. モジュールのインポート

- 「← インポート」 ボタンをクリックします。
- インポート元フォルダにmanifest.jsonが存在する必要があります。
- インポートするモジュールの一覧が確認ダイアログに表示されます。「OK」をクリックすると、モジュールが対象プロジェクトに取り込まれます。

【注意事項】

- VAコード自身 (アドインブック) へのインポートはできません。別のプロジェクトを選択してください。
- 既存の同名モジュールは上書きされます。ユーザーフォームの場合はコードのみが更新され、フォームのレイアウトは変更されません。
- インポート後は必ずファイルを手動で保存してください。インポート操作だけではファイルには書き込まれません。

9.4. 新規開発の手順

既存のVBAコードがない状態から新規にプログラムを開発する場合は、以下の手順で行います。

- 新規Excelブックを作成し、適当な場所に保存します。
- VBEを開き (Alt+F11)、必要なモジュールを挿入します (「挿入」メニュー → 「標準モジュール」 「クラスモジュール」 「ユーザーフォーム」 など)。コードは空のまま構いません。
- VAコードでそのブックをエクスポートします。各モジュールのコードファイルとmanifest.jsonが出力フォルダに生成されます。
- テキストエディタやAIを使ってコードファイルを編集します。
- VAコードでインポートして動作を確認します。

10. アンインストール

本ソフトウェアが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。Excelファイル自体は消えません。

- すべてのExcelファイルを閉じ、Excelを終了します。
- Windowsの「スタートボタン」をクリックし、「設定（歯車アイコン）」を開きます。
- 「アプリ」（または「アプリと機能」）をクリックします。
- アプリの一覧から「VAサーチシリーズ（統合版）」を探してクリックします。
- 「アンインストール」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。
- 初回インストール時と同じ手順でエクセルアドインの設定を解除してください。

11. 制限事項

- 動作確認はMicrosoft365で行っています。
- Mac版エクセルでは試験を行っていません。

12. トラブルシューティング

Q. ボタンを押しても反応しない、またはセキュリティ警告が出る。

A. 本インストーラーを使用した場合は自動的にブロック解除されていますが、Excelのセキュリティ設定によってはマクロが無効化されることがあります。「トラストセンター」の設定（マクロの設定）を確認してください。

Q. アドインが表示されない。

A. Excelの「ファイル」タブ > 「オプション」 > 「アドイン」 > 「設定(G)...」ボタンを押し、リスト内の該当するアドイン（VAサーチなど）にチェックが入っているか確認してください。

Q. アンインストールしたい。

A. Windowsの「設定」→「アプリ」から「VAサーチシリーズ（統合版）」を選択し、アンインストールしてください。

13. 開発者からのお願い

不具合報告やご要望につきましては、以下のURLのコメント欄等にてお待ちしております。

公式サイト（コメント欄）

<https://vba-assets.net/va-official-document-series-integrated-edition/#comments>

14. 使用許諾・免責事項

14.1. 使用許諾・禁止事項

- 営利目的の販売・再配布の禁止：本ソフトウェアを、開発者の許可なく第三者へ有償で販売、貸与することを固く禁じます。
- インターネット上での再配布禁止：本ソフトウェアを、不特定多数がアクセス可能なサーバー等に公開し、再配布することを禁じます。
- 組織内共有および業務利用：企業や団体などの組織内業務で自由に利用可能です。組織内での共有も問題ありません。

14.2. 免責事項

- 本ソフトウェアは、現状有姿（As-Is）で提供されます。開発者は、本ソフトウェアの動作、特定目的への適合性、およびバグがないことを保証しません。
- 本ソフトウェアの使用によって生じた、いかなる損害（データの消失、業務の中断など）についても、開発者は一切の責任を負いません。ご自身の責任においてご利用ください。

著作権・サポート

Copyright (C) 2020-2026 VBA Assets

<https://vba-assets.net/>